

# ～図書館だより～

図書委員のおすすめ本を各教室に置いてあります。

ぜひ手に取ってみてください。

読んでみたい方は図書室まで！



## 濱野瑛史先生のお薦め本

# 『か「」く「」し「」ご「」と「』』

住野よる

みんなには隠している、少しだけ特別な力を持った高校生5人。別に何の役にも立たないけれど、そのせいで、クラスメイトのあの子のことが気になって仕方ない——。それぞれの「かくしごと」が照らし出す、お互いへのもどかしい想い。甘酸っぱくも爽やかな男女5人の日常を鮮やかに切り取った、共感必至の青春小説。

皆さんは、「他の人はいま、何を思っているんだろう？」とか、「他の人の機嫌はどんなだろう？」とか、思ったことはありませんか？ 「他人の気持ちが分かることが出来ればどんなに楽だろう、」「自分は他の人にどう思われているだろう、」って。この本に出てくる高校生は、それぞれが相手の気持ちを少しずつだけ読み取ることができます。でも、だからといって、友達のことや好きな人のことを完全に理解できるわけではありません。性格がまったく違う5人組だけれども、全員が友達想いの優しい高校生です。気を遣いすぎたり、考えすぎたり…。そんな高校生の友情と恋愛がテーマのお話です。高校生の皆さんは特に共感できると思います！

私は、この話を読んで、高校生の時のことを思い出して懐かしくなったのと同時に、高校生の皆さんがうらやましく思いました。青春って素晴らしい！

これからも読書に、勉強に、遊びに、恋愛に、一生懸命に取り組んでください！そして、是非この本を読んでみてくださいね。そのときは、「かくしごと」することなく先生に感想を聞かせてくれたら嬉しいです！



図書館のおすすめ本

## 『戦国武将伝 東日本編・西日本編』

今村翔吾

今の日本で歴史小説ならこの人！という今村翔吾氏が、日本全国すべての県からひとりずつ戦国武将を選び、彼らを主人公に描いた物語集です。三重県から選ばれたのは北畠具教（「きたばたけ・とものり」。どんな人か知っていますか？私は知りませんでした！）。泣かせる話あり、ミステリのようなどんでん返しの話あり、ほのぼのとした話あり、歴史に興味がある人にもショート・ストーリーが好きな人にもお薦めです。

絵本コーナーができました。新刊絵本からのおすすめ

## 『メメンとモリ』 ヨシタケシンスケ

タイトルは「メメント・モリ（死をおもえ⇒いつかは死ぬことをわすれずに良く生きなさい）」というラテン語のことわざのもじり。

おさないモリとすこし年上のメメンの日々をとおして、「人は、なんのために生きてるの？」と考えてもいいし、考えなくてもいい、そんな本です。モリとメメンの会話はシビアだったり、笑わせられたり、考えさせられたり。

この本は「MOE 絵本屋さん大賞 2023」第2位を受賞しました。

